

# 天草の 電燈架設記念碑 巡り

---

付 天草各地の電燈導入年及び電気の歴史

---



天草市天草町福連木の電燈架設碑



# 天草の電燈架設記念碑等巡り

## 目次

天草各地の電燈架設碑等位置図	1
天草市東浜町の天草電燈開業記念碑	2
天草市天草町下田北の下津深江発電所跡	4
天草市天草町福連木の水力発電所送水管	5
天草市天草町福連木の電燈架設記念碑	6
苓北町都呂々木場の電燈架設記念碑	7
天草市栢宇土町大林の電燈架設記念碑	8
天草市本渡町黒仁田の電燈架設記念碑	9
天草市下浦町広崎の電燈架設記念碑	10
天草市栢宇土町鶴野々の電燈架設記念碑	11
天草市有明町下津浦の電燈架設 功勞者 河内典次氏の碑	12
苓北町志岐平山の点灯記念碑	13
苓北町志岐中尾の点灯記念碑	14
天草市下浦町湯貴の動力架設記念碑	15
天草市天草町高浜西平の点灯設置記念碑	16
天草各地の電燈導入年と電気の歴史	17

詳しくは、

## 『天草電気の歴史 100年史』

松岡 近 著

平成26年10月1日 発行

をご覧ください





# 天草電燈開業記念碑

天草市東浜町

## 天草電燈開業記念碑

九州配電株式会社 開業三十八周年  
大正元年十一月七日点燈  
天草営業所長 永野 俊治 勤続三十八年記念  
昭和二十五年十一月一日 全従業員協力により建立

### 建立者名

#### 発起人

有江廣志 榎田晴行 賀 久之 松崎初一 浜 熙 大町秀夫 山口義男  
武田興七 下田順吉 田島国重 江浦政徳 松本 登

### 賛助員芳名

#### 天草営業所関係

岩崎繁喜 岩崎高雄 入船豊喜 岩下正晴 磯塚八郎 井上千代輝 岩村利行  
岩見嘉伊吉 磯崎末男 石井 正 花田秀雄 波戸崎止 二宮庄蔵 西岡義周  
本田峯歳 堂ノ下武男 尾崎隆興 脇本藤松 川原末策 金子七三郎 川口秀任  
川井正人 川筋吉治 川上岸雄 吉田八千代 吉田 進 田中黒八 竹元一衛  
武田 透 田中末廣 田島政喜 鶴本梅次郎 堤田重忠 辻本菊松 中村友子  
鍋島春美 長島栄吉 中島 豊 中田一人 村岡和郎 向田正義 村枝 東  
宇野義男 浦本 一 上田金作 浦田秋太郎 野中一孝 野崎初義 野崎政夫  
岡部信幸 大塚文雄 鋤田尚敏 黒川正一 鋤田 巽 矢田勝信 山下 強  
山口勝弘 山口 幸 山内茂樹 矢田ミエ子 松本相英 益田 毅 丸田 尚  
松野 等 福田治一 小城弘行 小西ヨシエ 江崎重人 寺沢卯三郎 寺沢フミエ  
寺岡 崇 有江 実 飽田弘子 浅井数美 里崎玄明 木場春雄 宮崎徳治  
宮崎 勇 三宅倉多 下村勘三 比志島国重 一二三直喜 檜垣年香 檜垣周平  
森田亀三

#### 発変電所関係

稲田政吉 浜崎藤雄 土井邦義 岡田幸雄 渡辺数雄 柿本盛幸 川内正人  
川崎次男 川端 護 米田亀雄 高田 豊 武田与一 中山広造 永田 実  
上村末松 上田重久 山田祐一 柳本忠義 山口 博 松村清市 船島与吉  
福田又造 福本新太郎 福井 透 袋田留造 小辻義晴 木村国治 蓑田 勇  
溝口政男 白木徳市 下川清英 平野政吉 平田幸生

#### 天草線路班

池田秋義 番田竜夫 原田重次郎 西勘次郎 中島喜悦 大平金雄 栗崎光高  
山下 勝 安田 昭 荒木熊男 清田逸郎 俵本初太郎



九州配電株式会社  
 開業三十八周年  
 大正元年十一月七日点燈  
 天草營業所長 永野 俊治  
 勤続三十年記念  
 昭和二十五年十一月  
 全従業員協力に依り建立

旧記念碑

# 下津深江発電所跡

天草市天草町下田北轟公園

## 下津深江発電所跡

昔、この場所には、下津深江川の水力を利用した発電所がありました。温泉の街下深江村(現在の下田)に、早く電灯をともし、街を活気づかせたいという村人の願いを聞いた松本久太郎氏(当時の北天草電灯会社社長)が、村人と協力し、一年半のさい月をかけてつくった水力発電所です。

出力は100キロワット、かかった工費は10万円(現在の3億円ぐらい)、完成したのは、大正11年(1922)のことです。

発電のしかたは、福連木の『すげのはら』と支流『したやま』から水を取り入れ、コンクリートの管をしいての送水発電でした。

発電所が完成すると、下田の街は電灯がともし明るくなりました。そして、遠くからもお客さんが大勢やってきて、にぎわったとのこと。発電した電気は、下津深江村だけでなく、ほかの村(富岡、志岐、坂瀬川、二江)などにも供給されました。

その後、この小さな下田の発電所は、街を大いに活気づかせた後、電力不足のため昭和17年、九州電力に合peiされ、2年後には廃止されることとなります。

今は、『すげのはら』にあるコンクリートの送水管が当時のおもかげを残しているだけです。

※私たちは、下津深江発電所のことを調べて、ここに記念碑をたてました。

天草町下田北小学校 4年

豊田幸毅 堀田未央 津田里樹 高見英理 嶋田 葵

倉田美奈 田中恵美

平成13年12月10日

天草町教育委員会

以上は、当地に建てられていた、下田北小学校の児童たちの研究発表の案内板です。ただし、取材時、写真のようにかなり劣化しており、かろうじて読める状態であったが、現在は撤去されて無くなっている。



右は、発電所跡地附近の轟の大水車、ただしこれも現存しない。



# 水力発電所送水管

天草町福連木菅ノ原トンネル近く

## 水力発電所送水管

水力発電所は下津深江(現下田北轟)に大正11年3月完成した。下津深江川の中流福連木菅原とその支流下山川の下田北下山の二地点から取水、下津深江地域に電力供給を開始した。

当時、電力供給は温泉の街としての住民の宿願であり、北天草電気株式会社松本久太郎社長と住民連の努力が結実した施設である。その後、富岡・志岐。坂瀬川。二江等の地域にも供給したが、昭和26年に解体され、現在では約800mにわたり送水用コンクリート管が残されている。

平成14年3月

天草町教育委員会



# 天草町福連木の電燈架設記念碑

天草市天草町福連木

電燈架設記念碑  
昭和27年9月建立

【碑文】

電燈架設のことは早くから話題にのぼつて居たが具体化したのは昭和十一年の頃北電との交渉が始められてからであった

併しこれも種々の事情から一応契約は結んだが彼の大戦のため一時見送るの外なかつた

昭和廿年戦も止み時の村長平井氏により九州電と交渉が再開せられた

戦後資材難等幾多の難関があつたが各委員の協力と氏の不屈の努力により廿二年八月第一期廿二年七月第二期と次々に完成茲に一同文化の光に浴することとなつた

此の資材入手難に之を一手に引き受け大なる犠牲を払われた川瀬房一氏、十一年以来陰にあつてこの問題に関して努力を続けられし人々慈に工事中各種の作業に或いは乏しき食糧を持ち寄り等の苦勞を記して筆をおく

施工人 仁田善人

吉田作太郎

電燈委員 長 平井三鶴

副 柳辺善吉

員 太田俊雄 瀬川 栄 水田新作 山田長市 岩下永一

柳辺久次郎 杉本金次郎 野田猶吉 松本伊吉

一明 力 松本五十二 橋本熊人

建碑委員 築田房一 柳田虎雄 前川義春 松本伊吉 川瀬松彦

坂本作ノ重 京塚重義 坂本健吾 柳辺善吉 管田鹿市

橋本熊八 岩下永市 平井政男 滝本松太郎

※ 句読点や漢字不明のところは、推字しています。

北電=北天草電気

九州電=九州配電?

ちなみに九州電力は

昭和26年5月創立



# 苓北町都呂々木場の 電燈架設記念碑

苓北町都呂々木場

昭和二十九年二月  
電燈架設記念碑  
村長 前川敏雄 書

## 【碑文】

昭和二十七年二月五日木場区総会ニ於テ電燈架設ノ議起リ関係者一同同意ヲ得テ同二十七年三月三日コレノ期成会ヲ設置シ彼村当局ノ協力方ヲ懇請シタルトコロ絶大ナル御援助ヲ得シニ及ビ関係各方面ニ対シ強カナル運動ヲ起シ会員一同一丸トナリ事ニ当タルコトニシテソノ結果同二十八年九月架設ノ許可ニ接シエ費二百六十余万円ヲ以テ第一期点灯ノ実現ヲ見ルニ至レリ爾来五ケ年有余ノ歳月ト不撓ノ努カヲ費ヤシ同三十年二月全目的達成ノ実ヲ挙ゲ得タリ以テ茲ニ記念碑ヲ建立シ永クソノ歡ビヲ頌エントス

昭和三十一年九月吉詳日

電燈架設期成会

会 長 平田政男

委 員 福田勝太郎 窪井寅市 平田近作 善徳利通 福田富治 福井善太郎  
平田敏太 兼尾菊太郎 松本万次郎 小林正志 林田宇吉 小林正夫  
小林嘉幸 太田勇次 大田伊之太 松尾正義

協力者 吉川 充

施工者 野田虎雄



# 栢宇土町大林の電燈架設記念碑

天草市栢宇土町大林

## 電燈架設記念碑

昭和二十一年五月廿三日

寄付者

電柱十本 糸田末人  
一金 五百円也 管アサヨ  
百円也 小林新九郎  
百円也 下浦村 竹内武彦

天草電業局

局 長 本武千敬  
業務係長 榎田晴行  
技術係長 米村 勇  
外 線 係 松崎初一  
内 線 係 浜 熙 有江吉勝 江浦政徳  
工 事 者 野崎初義 鍬田尚敏 大塚文雄 入船豊喜 堤田重忠 武部力松  
功 労 者 金子末春 山下タマ 中野惣市 大林繁義

昭和21年5月23日

建 立 者 大林弥作 中野久太郎 外一五名



# 本渡町黒仁田の碑

天草市本渡町黒仁田木賊河内

黒仁田木賊河内

## 電灯架設記念碑

昭和三十二年六月

発起人 松下三五郎 井手福市 久保田正成

委員 久保田萬吉 若杉浅松 柳田六市 滝本奈太平 釜田政次郎

宮崎末吉 竹本伊忠 山川力松 松下兼造

組合員 中山重吉 若杉朝市 山川須一郎 川崎寅市 井手文作

牧野末吉 松下徳太郎 金子興重 竹本武彦 桐 喜一

後援者 本渡町長 大谷秀彦

助 役 中村一彦

町会議員 鶴田孝男 蓮池直市 山下謙吾 米村勇 永野俊治

江浦政徳 松崎初一 □□□□

電柱寄贈 四本 追本幸亮

三本 天草造船所

工事者 九州配電会社

外線 九州電工会社 松本熊雄

内線 西邦建設会社 小野川侑 田中初義

石工 橋口喜代松



# 下浦町広崎の電燈架設記念碑

天草市下浦町広崎

電燈架設記念碑 栗谷生書

昭和拾老年參月 頌徳之詞

鹿児島県松尾治吉氏

氏本村生也壯年在大志出郷関奮励努力遂大成而常意用郷当之上本村桃源之境来不浴文化惠澤乃氏致比虎先衆起電燈架設之議及議成提供多額淨財以今日至其实现比氏篤行之賜也慈草粗詞氏之恩惠為銘記所以也

電燈架設世話人

区長 大塚竹造

石井嘉兵 黒川辰次 福島音次郎 吉田若市 長田政雄

吉田松二郎 吉田俵市

寄付者芳名

一金 壹百円也 在人幡市 親友会

会員氏名 田口又市 田口勇七 上根 勇 大塚正直 田口庄太郎 長田喜熊  
田口末次郎 田口 清 長田数馬 田口憲次 菅原佐七 田口国次  
長田静馬

碑石寄贈 田口兵太郎 大塚岩雄

台石寄贈 緒方左七 田口繁好 栖本向戸

寄付者芳名

一金	壹百円	上根 勇	金	拾五円	田口勇七
金	拾円	田口庄太郎	金	同	渡辺光太郎
金	九円	菅原佐七	金	同	長田数馬
金	五円	長田喜馬	金	四円	田口又市
金	同	大塚正直	金	同	田口 清
金	三円五十銭	田口末次郎	金	三円	田口佐与吉



# 栢宇土町鶴野々の電燈架設記念碑

天草市栢宇土町 鶴野々

## 電燈架設記念碑

点 灯 昭和廿一年五月

碑建立 同廿六年十月

功劳者

宮地岳村 田中一

発起人

山田初太郎 山田雪松 龍宮安太郎 原田清一 原田定一

世話人

太田甚八 松本長一 山田博吉 山田秋広 山田春男



# 有明町下津浦の 電燈架設功労者河内典次氏の碑

天草市有明町下津浦

電燈架設 功労者 河内典次氏の碑

昭和28年12月12日創立

九電天草営業所

所長 鶴田郁郎氏代

架設委員

岡田桃二郎 岡田浅次郎 福田義満 高浜勇次郎 岡田守義 外一同



# 苓北町志岐平山の点燈記念碑

苓北町志岐平山

## 点燈記念碑

昭和二十二年四月竣工

当時村長 荒木守孝

現村長 田中隆安

委員 田中増見 田中名市 田中秀義 林田和郎 臼井秀市 林田熊雄  
大仁田幸造 林田信雄 林田弥八郎 林田カシ 林田幸貞 田中薫作  
若松他人 若松武雄 林田伊与太 林田松吉 田中九市 戸北茂俊  
戸北行雄 戸北二二人 北森信繁 林田繁宝 大仁田全太郎 臼井薫市  
臼井繁信 臼井富太郎 林田藤高 林田普市 林田一雄 林田仲五郎  
田中来太郎 林田常雄 林田由信 林田□□ 林田俊行 林田滝雄  
林田辰雄

昭和二十八年四月 二周年

点燈者一同建立

(注 刻字では分かりにくいので編集)



# 苓北町志岐中尾の点灯記念碑

苓北町志岐中尾

昭和32年1月7日

点灯記念碑

昭和61年6月建設

中尾区民一同



# 下浦町湯貫の動力線架設記念碑

天草市下浦町湯貫

## 動力線架設記念

昭和四十八年架設

世話人 江浦政徳

加入者 大塚時雄 大塚芳正 草積重夫

松岡 勇 松岡利徳 湯貫 司 大塚清広



# 天草町高浜西平の電燈設置記念碑

天草市天草町高浜西平 西平公民館

## 電燈設置記念

昭和13年4月

設置特別工事金1480円

内村補助(※)

## 特別寄付者(※)

一金 百五十円

一金 同

一金 同

## 発起人

西田禎太郎 中本熊市 山田口次郎 村上力太郎

村田福太郎 西田亀雄 西原伝吉 ( )

※ 村補助の金額、寄付者の名前は土中に埋まっており不明



## 天草各地の電燈導入年と電気の歴史

年		供給開始区域	天草の電気の歴史
明治	24.7.1		熊本電灯開業(九州初の一般供給開始)
明治	44		本渡電灯認可
明治	44		牛深電灯認可
大正	1.11.17		牛深電灯・天草電灯の事業を譲り受けて天草電灯開業(資本金35万円)
大正	1		天草電灯株式会社(天電)本渡発電所操業開始 32kw
大正	1	本渡	
大正	2		(天電)牛深発電所 75kw 後本渡発電所の発電機(32kw)移設
大正	2	牛深町	
大正	5.12.5		北天草電気(北電)開業 発電所は炭鉱所有のガス力発電所を借受供給
大正	5	五和町二江	
大正	5	苓北町坂瀬川	
大正	5	苓北町上津深江	
大正	5	苓北町富岡	
大正	5	志苓北町岐	
大正	5	苓北町都呂々	
大正	7.3.		熊本電気(熊電)、大矢野町登立に事業開始、上天草市姫戸に出張所を設置
大正	8	久玉町	
大正	8	魚貫町	
大正	8	河浦町一町田	
大正	8	下浦町	
大正	8	志柿町	
大正	8	有明町島子	
大正	8	下浦町石場	
大正	8	楠浦町	
大正	9.6.		(天電)瀬戸発電所 100kw
大正	9.12.		(北電)下津深江川水力発電所 88kw
大正	9	苓北町下津深江	
大正	9	有明町赤崎	
大正			
大正	10	天草町高浜	
大正	10	天草町大江	
大正	10	河浦町崎津	
大正	10		(熊電)大矢野町上 事業開始
大正	10	大矢野町上	
大正	11年3月		
大正	11年10月		(天電)大宮地川水力発電所 124kw→130kw
大正	11	下浦町戸ノ崎	
大正	14年9月		(熊電)姫浦変電所と送電線を完成 上島の大半を供給 送電線は、三角変電所から海峡を横断し建設 総延長25.3km、電圧33,000v、最長スパン448m、 使用電線 鋼芯アルミ、58.9mm7本撚り
大正	14	松島町今津	

大正	14	松島町河内	
大正	14	松島町阿村	
大正	14	松島町教良木河内	
大正	14	姫戸町姫戸	
大正	14	姫戸町二間戸	
大正	15	龍ヶ岳町樋島	
大正	14	龍ヶ岳町高戸	
大正	14	龍ヶ岳町大道	
大正	14	倉岳町棚底	
大正	14	有明町楠甫	
大正	14.6.-		天草電灯、球磨川電気へ合併統合
大正	15	倉岳町宮田	
大正	15	栖本町	
昭和	2		熊本電気より電力を購入し、一町田変電所新設
昭和	2	五和町手野	
昭和	2	五和町城河原	
昭和	2	本町	
昭和	2	宮地岳町	
昭和	2	河浦町新合	
昭和	2	深海町	
昭和	3	河浦町宮野河内	
昭和	4	有明町大浦	
昭和	5		天草の炭鉱に電力使用開始
昭和	11	下浦町広崎	
昭和	12.10.-		湯島発電所 9kw→15→25→100
昭和	13	天草町高浜西平	
昭和	17.4.-		九州配電発足
昭和	21	魚貫町池田	
昭和	21	栢宇土町	
昭和	21	本町鶴	
昭和	21	栢宇土町大林	
昭和	21	栢宇土町鶴の野々	
昭和	22	牛深町砂月	
昭和	25	苓北町志岐平山	
昭和	26.5.1		九州電力発足
昭和	27	天草町福連木	
昭和	27	御所浦町御所浦	
昭和	28	有明町下津浦	
昭和	28	御所浦町外平	
昭和	29	苓北町都呂々木場	
昭和	32	苓北町志岐中尾	
昭和	34	御所浦町横浦	
平成	7.12.14		苓北発電所1号機運転開始
平成	15.6.24		苓北発電所2号機運転開始